

5 市民・学生等アンケート調査結果（概要）

（１）アンケート調査の実施概要

１）調査主体

・新見市

２）調査目的

・新見駅周辺のまちづくりにおける、基本構想作成に向けた利用者等の意向反映のため

３）調査対象

- ① 18 歳以上の市民 1,000 人
- ② 新見公立大学生 650 人（全学生）
- ③ 新見市内全高校生 610 人
（岡山県立新見高等学校、岡山県共生高等学校）
- ④ 施設利用者
（ＪＲ新見駅、新見美術館、新見市役所、
大佐支局、神郷支局、哲多支局、哲西支局）

４）調査時期

・令和３年６月

５）調査方法・回収数

対 象	調査方法	回収数（回収率）
①一般市民（1,000 人）	・郵送による配布・回収	477（47.7%）
②新見公立大学生	・WEB による配信・回収	536（82.5%）
③高校生	・学校への一括配布・回収	591（96.9%）
④施設利用者	・常設アンケートの設置による配布、現場回収 ・Web による配信・回収	251（—）

※次頁以降の集計グラフでは、④施設利用者アンケートのうち新見市役所（２）、大佐支局（13）、神郷支局（0）、哲多支局（4）、哲西支局（8）の計 27 名分を①一般市民アンケートに加えて集計している。

(2) アンケート調査結果（概要）

1) 駅周辺の目的別利用頻度（公共交通目的、飲食・買い物等目的）

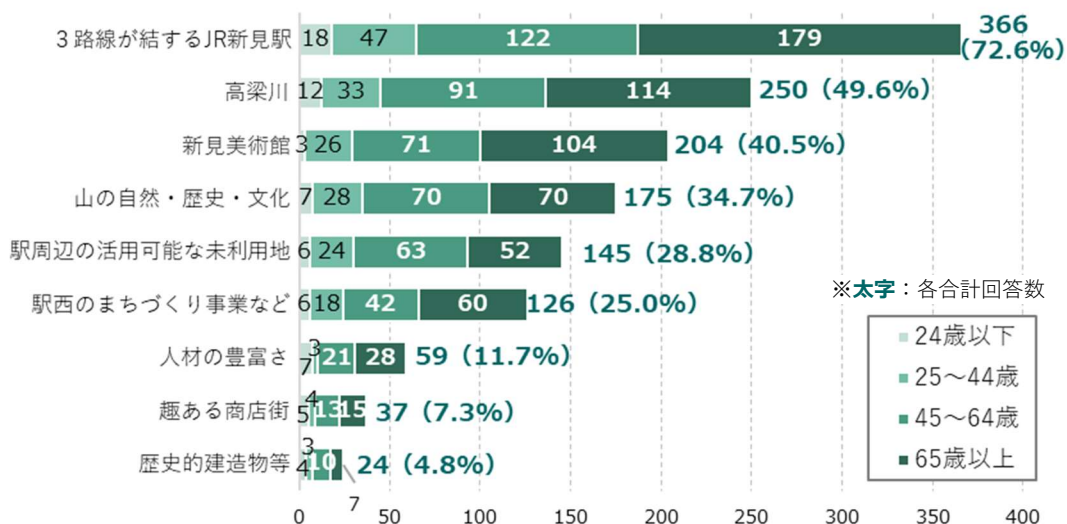
- ・「公共交通目的」での新見駅周辺の利用については大学生とJR新見駅利用者以外、「飲食・買い物等」を目的とした利用については、全てのアンケートで「ほとんど利用しない」が最多となっています。
- ・一方、公共交通目的での駅周辺の利用について、大学生は半数以上、高校生は4割以上が月数回以上利用しています。
- ・施設利用者（駅・美術館等）の約4割は、飲食・買い物を目的として駅周辺をほとんど利用していません。

2) ワークショップで出た意見への賛同性

① 新見駅周辺の魅力・強み・資源について（3つ選択）

- ・いずれのアンケートでも「**新見駅**」「**山の自然・歴史・文化**」「**高梁川**」の選択率が高くなっています。
- ・「新見美術館」について、一般市民、施設利用者では選択率が高くなっていますが、大学生、高校生では、選択率が比較的低くなっています。

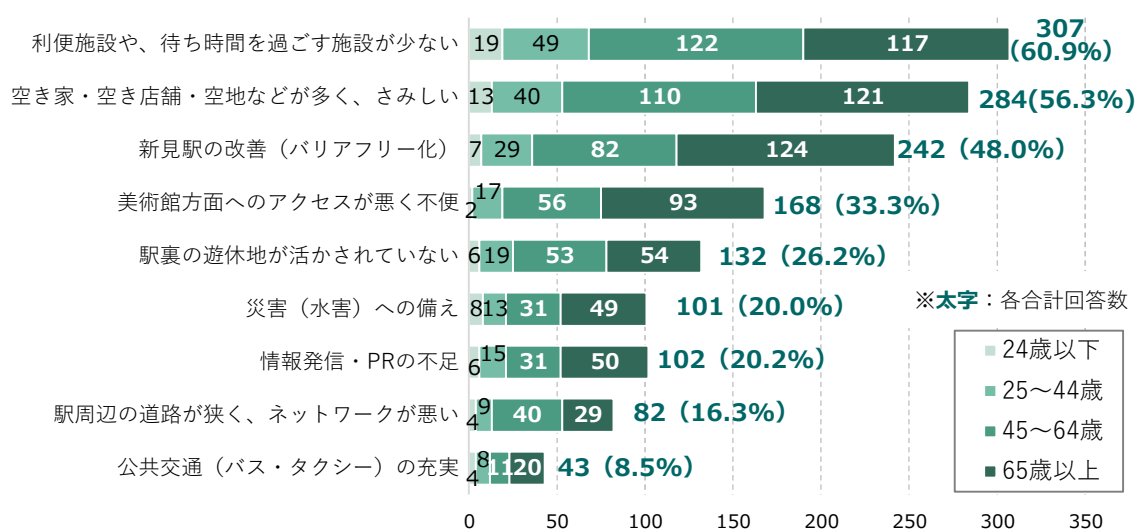
■ 新見駅周辺の魅力・強み・資源（3つ選択） ※①一般市民へのアンケート結果（回答数：504）



② 新見駅周辺の課題点について（3つ選択）

- ・いずれのアンケートでも「**利便施設や、待ち時間を過ごす施設が少ない**」が最多となっています。その他、共通して「**空き家・空き店舗・空地等が多くさみしい**」「**新見駅の改善（バリアフリー化）**」の選択率が高くなっています。
- ・「美術館方面へのアクセスが悪い」については、一般市民、新見美術館利用者アンケートでは選択率が高くなっていますが、大学生、高校生アンケートでは選択率が低くなっています。
- ・大学生は、「公共交通の充実」の選択率が高くなっています。

■ 新見駅周辺の課題点（3つ選択） ※①一般市民へのアンケート結果（回答数：504）



③ 将来の新見駅周辺の姿として、望ましいと思うキーワード（3つ選択）

- ・大学生アンケートでは、「やる気・ワクワク・バラエティ」が最多となっています。新見美術館利用者アンケートでは、1位が「未来に向けたまちづくり」、2位が「自然・環境」、3位が「芸術」となっています。
- ・その他のアンケートでは、「**未来に向けたまちづくり**」と「**住み心地・住み継ぎ**」が1位と2位になっており、いずれも将来へつながるキーワードの選択率が高くなっています。

④ 新見駅周辺において、どんな空間や施設があったら良いと思いますか（3つ選択）

- ・全てのアンケートで「**待ち時間が過ごせる空間**」が最多であり、4割以上が選択しています。また、「**若者から高齢者まで集い楽しめる空間**」、「**定期的なイベントが行える広場空間**」の選択率が高くなっています。
- ・大学生、高校生では、「勉強等で静かに過ごせる空間」の選択率が高くなっています。

⑤ ワークショップで出された、学生や民間事業者が参画する取組アイデアについて、特に魅力的だと思うものはどれですか（3つ選択）

- ・「**空き家、空き事務所の有効活用**」「**コンテナ等の設置による広場空間づくり**」の選択率が高くなっています。
- ・新見美術館利用者では、「美術館と連携したアートイベント開催」が最多となっています。
- ・新見美術館利用者を除き、「屋台村のようなお店の定期的な出店誘致」の選択率が高く、大学生、高校生は「学生主体のカフェコーナーの運営」の選択率が高くなっています。

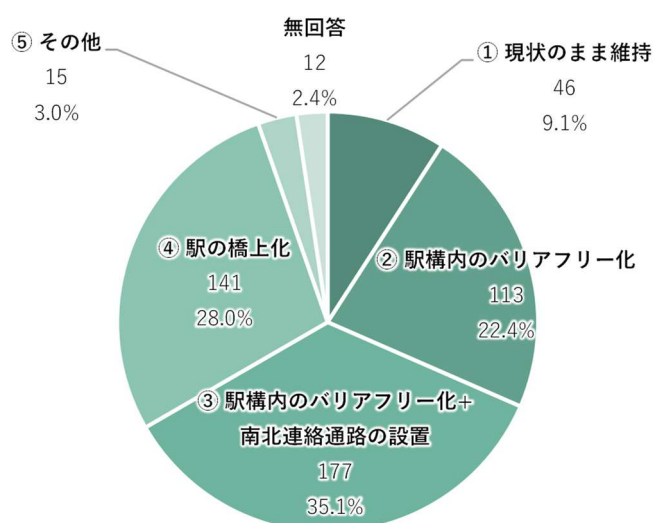
3) まちづくりへの参加意欲

- ・いずれのアンケートでも「**③内容次第で参加**」が**最多**となりました。また、③と「①自ら進んで参加したい」「②協力を求められれば参加」を合計すると半数以上を占め、**半数以上がまちづくり活動に関して何らかの参加意向**を示しています。
- ・特に大学生については、①②③を合計すると八割を超え、他より参加意欲が高いと考えられます。
- ・一方、活動に**自ら進んで参加したい人は少数**となっており、今後活動を実行に移していく環境づくりが必要と考えられます。

4) JR新見駅の将来的なあり方について

- ・アンケート全体として「②駅構内のバリアフリー化」「③バリアフリー化+南北連絡通路」「④駅の橋上化」を合計すると8割を超えており、現状からの改善を求めた結果となっています。

■ JR新見駅周辺の将来的なあり方について

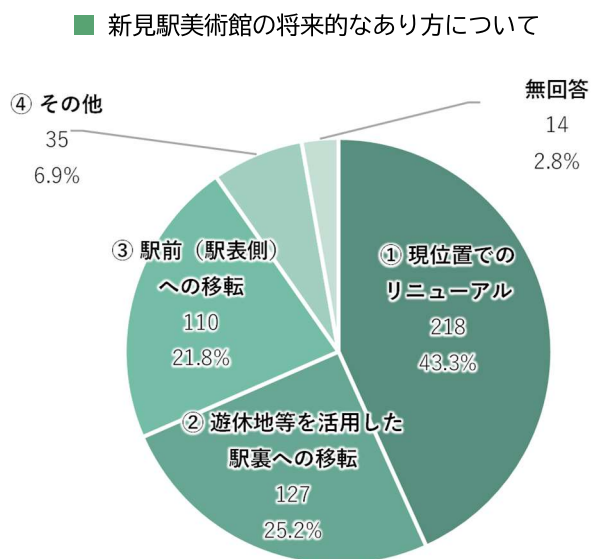


※①一般市民へのアンケート結果(回答数:504)



5) 新見美術館の将来的なあり方について

- ・一般市民アンケートについては、「①現位置でのリニューアル」より「②新見駅裏への移転」と「③駅前への移転」の移転意見がわずかに上回る結果となっています。
- ・大学生、高校生アンケートについては、「①現位置でのリニューアル」が最多となり、6割を超えています。
- ・ＪＲ新見駅利用者アンケートについては、一般市民アンケートと同様に①現位置意見より②③を合計した移転意見がわずかに上回る結果となっています。一方、新見美術館利用者アンケートでは、①の現位置意見が最多で約半数を占める結果となっています。



※①一般市民へのアンケート結果（回答数：504）